



開館5周年記念特別展

1万人が見学!! 7.22~8.27

「楽器誕生! ~日本の音の知恵と技~」終わる

7月22日(土)から8月27日(日)まで、特別展「楽器誕生! ~日本の音の知恵と技~」が当館地階第3展示室で開催されました。

この特別展では、日本の伝統的な楽器をいくつか取り上げ、その材料や製作過程などを紹介しました。

会場は、三味線や箏などのはじく楽器、尺八や笙、能管などの吹く楽器、梵鐘や各種太鼓などの打つ楽器の三つのコーナーに分かれており、今回は、楽器の誕生に焦点をあてた特別展とあって楽器そのもののほか、材料や製作途中の物も多く展示しました。また、製作過程や演奏を記録した映像の放映や、写真展示も行いました。

箏の展示では、山田流素箏仕立の箏をはじめ、胴

の内部が見える加工途中の品や、外丸カンナなどの製作道具、紅木製の部品などを展示しました。また写真や映像で製作過程の一部を紹介しました。胴の周囲をコテで焼く場面などに見入る観覧者の姿が多く見られました。

会場には、合わせて9,947人の方々が訪れました。日本の楽器製作は、通常あまり目にすることが出来ないため、一般の方々や夏休みの調べ物をする小学生のほか、邦楽器演奏をするアマチュアの方々、音楽の研究者の方々などの姿もありました。

会期中に行った展示解説は合計271人の方々が訪れ、日本の楽器を通じた来館者と出品者、博物館との交流の場となりました。

(関連記事3ページ「連続お楽しみ講座報告」)

感動しました！開館5周年記念ミュージアムコンサート

「きよらかに、さわやかに」

日本と南米の伝統音楽で開館5周年を祝いました。

7月2日(日)の午後2時からアクトシティ21音楽セミナー室で開催。入場者は207名。

前半は、愛知県北設楽郡東栄町河内花祭保存会(国指定重要無形民俗文化財)のみなさん11名による花祭の実演。花笠を被った小学6年生男子3名による「湯の舞の扇」と、鬼の面をつけた大神が松明の灯に誘われて踊る「猿田彦」の2つを上演。笛と太鼓が響く中、会場は神聖な空気につつまれました。

後半は南米のハープ「アルパ」の名手ルシア塩満さんとロス・コンパニェーロスによる南米folkローレの数々。アルパにギター、チャランゴ、ケーナ、サンポーニャも加わって、日本でもよく知られる名曲「コーヒールンバ」や「コンドルは飛んで行く」の他、「カスカーダ」「君偲ぶ夜」など最もアルパが盛んな国パラグアイの名曲を演奏。ルシアさんのさわやかな解説と音楽で会場は南米色に染まりました。

「ストロー笛のゆかいな世界」

子供も大人も、のべ640名が感動！

7月1日(土)と2日(日)、神戸在住のストロー奏者神谷徹氏によるゆかいなコンサートが楽器博物館展示室にて30分ずつ計5回行われました。神谷氏は世界でただ一人のストロー奏者。20年ほど前から開発しているストロー笛の旧作から新作、珍作に至るまで各回十数種類以上のストロー笛を演奏。それぞれが特定の曲専用にてできており、「かたつむり」ではかたつむり型の笛が最後につのを出し、「シャボン玉」では笛の先からシャボン玉が飛び出し(写真)、「さくら」では木がのびて最後に花が咲く。韓国国歌では演奏に合わせて韓国国旗が揚がり、「ぞうさん」では長い鼻がゆらーり。

幼児からおじいちゃん、おばあちゃんまで笑いと感動のコンサートでした。



楽器博物館5年の歩み その2 ～開館記念コンサートと特別展～

平成7年4月8日、浜松市楽器博物館・アクトシティ研修交流センターの合同落成式が行われました。市内の演奏グループである18世紀アンサンブル浜松や、消防音楽隊による演奏をバックに、玄関ロビーにて市長をはじめ来賓がテープカット。続いて21音楽セミナー室にて式典、その後、式典出席者による楽器博物館内覧を行いました。展示フォルテピアノの元所有者であるウィーンのピアニスト、イェルク・デムス氏による展示ピアノの演奏に見学者は聞き入っていました。

当日夜はオープン記念コンサート第1弾として、午後6時30分よりアクトシティ中ホールにてイェルク・デムス氏によるフォルテピアノと現代ピアノのコンサート。フォルテピアノは博物館所蔵品からA.ヴァルター(ウィーン、1810年頃作)、C.グラーフ(ウィーン、1820年頃作)、J.B.シュトライチャー(ウィーン、1856年頃作)、そしてプレイエル社(パリ、1860年作)の4台がステージに並び、デムス氏のお話を交えての演奏に、つめかけた約千人の聴衆は酔いしれました。プログラムはモーツァルト「ロンドイ短調K.511」、シューベルト「即興曲D.953より第3番変ロ長調」他。

翌9日は一般公開初日で、入館者は1,586人。ま

た、午後2時からオープン記念コンサート第2弾「光彩楽人」と題して日本音楽の流れをテーマに、伶楽舎他の演奏により、日本の古典雅楽、琵琶と箏の古曲、近代邦楽、現代雅楽を紹介しました。プログラムは「林歌」、「壇ノ浦」他。

オープンと同時に開催の第1回特別展は「竹の楽器・ひょうたんの楽器～音と形への工夫～」。世界各地の竹製・ひょうたん製の楽器約350点を展示しました。ほとんどが東・東南アジア、オセアニア、アフリカのもの。手作りで構造や仕上げも多くが大変素朴かつ簡単なものですが、楽器を作る人間の知恵に見学者は感動しました。



第一回特別展「竹の楽器・ひょうたんの楽器」(平成7.4.9～5.7)

おめでとう！ 入館者50万人達成！！



左3人：西川さん親子 右：北脇浜松市長
者は市内富塚町の西川さん親子。市長からお祝いの言葉と記念品が送られました。

浜松市楽器博物館もおかげさまで5周年を迎えました。その今年、平成12年8月21日（月）、楽器博物館の入館者も50万人目を迎えることができました。この日はたまたま「県民の日」の無料入館日でしたが、朝から続々と入館者が続き、午後1時頃50万人達成。晴れの入館

開館5周年記念特別展

「楽器誕生！～日本の音の知恵と技～」 連続お楽しみ講座報告

特別展に関連して、展示解説のほか、小学生向けの邦楽器体験教室「夏休みチャレンジ教室」、演奏とお話を織りませたミニ文化講座「ミュージアムサロン」、製作の様子が見学できる「実演」を行いました。

写真は、笛の修理・製作を行う田中敏長さんを迎え、8月13日に開催されたミュージアムサロン「横笛のひととき」の様子です。竜笛や能管、高麗笛、篠笛などのお話に演奏を交え、日本の横笛に親しむ楽しいひとときを過ごすことができました。来館者からも多くの質問が出ました。終了後も、横笛の製作や演奏などの活動をしている横笛研究会の協力で、来館者が笛を手にとったり、試しに吹いてみたり、製作について話を弾ませたりしていました。



移動博物館「わくわく楽器ランド」 開催（6～9月）

浜松市内の小学校を巡回する移動楽器博物館「わくわく楽器ランド」（浜松市楽器博物館・アクトシティ音楽院共同事業）の第2回から第6回までが、下表のとおり開催されました。

第2回の村櫛小学校では、昼休みにコンサートも開かれ、児童だけでなく教師にもよい経験になったとの評価をいただきました。

第2回	村櫛小学校	6/5(月)～6/7(水)
第3回	篠原小学校	6/15(木)～6/17(土)
第4回	神久呂小学校	6/27(火)～6/29(木)
第5回	中ノ町小学校	7/5(水)～7/7(金)
第6回	初生小学校	9/20(水)～9/22(金)



音が大きくなるのかな？ 小型手回しオルゴールを洗面器に当てる実験

楽器博物館ボランティア活動

今年度より、当館においてボランティア活動が始まりました。6月に公募を行い、研修を終えた30人の方々が現在活動中です。ボランティアの会の運営や、展示室での接客・案内、小学校移動博物館での楽器取扱説明、子供向けワークショップの指導などを行っています。少しずつ活動を軌道に乗せ、生涯学習時代に合った息の長い活動へとつなげていきたいと思います。

楽器博物館学芸員実習を行いました

7月28日から8月8日まで、大学で博物館学芸員養成課程履修中の大学生のために学芸員実習を行いました。静岡大学、愛知県立芸術大学など7大学9人の実習生を受け入れ、のべ10日間にわたって、資料の扱い方、展示の仕方、学芸員としての資料の見方などを実習しました。

冬休み 企画展「楽器ワンダーランド」開催!

楽器博物館では、平成12年12月23日(土)から平成13年1月8日(日)までの期間(12/25, 29, 30, 31, 1/1は休館)、企画展「楽器ワンダーランド」を開催します。

この企画展では、以下のコーナーに分けて音や楽器についてのことがらを紹介します。子供達のために、体験できる楽器や道具も勢ぞろいする予定です。ぜひ遊びに来てください。

・楽器はどこで生まれたの?

ある一つの場所で生まれた楽器が、世界中に広がっている例がたくさんあります。そんな楽器の伝わった様子を紹介します。

・楽器はどうして音が出るの?

音や楽器の音が出るしくみは、とっても不思議なもの。ここではいろいろな実験道具を体験しながら、音や楽器の不思議を探ります。

・楽器にさわするには「あいことば」がひつようなのだ

楽器の不思議がわかったら、世界の楽器を体験してみよう。演奏のしかたの詳しい説明や「あいことば」を使った音の出し方のコツも紹介します。

この他にもいろいろな企画を考えています。どうぞご期待ください。

◆博物館日誌

7/1.2 市制89周年・開館5周年記念ミュージアムコンサート
「ストロー笛のゆかいな世界」

出演：神谷徹(ストロー奏者)

7/1 13:00, 14:00, 15:00 7/2 11:00, 13:00

7/2 市制89周年・開館5周年記念ミュージアムコンサート
「きよらかに、さわやかに」

出演：愛知県北設楽郡東栄町河内花祭保存会

ルシア塩満とロス・コンパニエーロス

14:00 研修交流センター

7/2.9.16.20.23.30

展示室ガイドツアー

7/16 ミュージアムサロン「体験教室アンクルンをひこう」
講師：内山聖子(当館職員)

7/22~8/27

開館5周年記念特別展

「楽器誕生!~日本の音の知恵と技~」

特別展連続お楽しみ講座

展示品解説 7/22.8/12.19.26.27

夏休みチャレンジ教室

7/23 「箏を弾こう!」 講師：坂下憲吾

7/29 「三味線を弾こう!」 講師：杵家彌七比古

8/5 「草笛を吹こう!」 講師：加茂光廣

ミュージアムサロン

7/30 「三味線の音色と表現」 講師：杵家彌七比古

8/6 「楽しい草笛」 講師：加茂光廣

8/13 「横笛のひとつとき」 講師：田中敏長

実演

8/20 「太太鼓の革を張る」 実演：安藤恒司他

7/28~8/8

楽器博物館学芸員実習

8/6.13.20.27

夏休み子供向け展示室ガイドツアー

8/20 ミュージアムサロン「アルパ・ミニコンサート」
出演：長島忠之(アルパ奏者)

8/21 入館者数50万人記念式典(西川親子御一行様)

9/3.10.17.24

展示室ガイドツアー

9/17 ミュージアムサロン「体験教室アンクルンをひこう」
講師：内山聖子(当館職員)

◆今後の催し物

展示室ガイドツアー

10/1.8.15.22.29 11/5.12.19.26 12/3.10.17.24

各日とも11:00と14:00, 展示品の解説

ミュージアムサロン

10/15 「ギター・ミニコンサート」講師：佐藤剛(当館職員)

11/19, 12/17 未定

各日とも11:00と14:00, 楽器ワンポイントミニ講座

展示品の演奏

毎日 10:00~16:00の間で一時間毎

展示品の演奏デモンストレーション

企画展「楽器ワンダーランド」

12/23(土)~1/8(日)

楽器の仕組みを体験しながら学べます

常設展観覧料のみでご覧いただけます 楽器博物館地階展示室

小展示「海外フィールドワーク速報展」

12月予定

楽器や音楽文化についての海外調査の速報を写真と映像で紹介します

常設展観覧料のみでご覧いただけます 楽器博物館地階展示室

◆お知らせ

アジア・アフリカ展示室(地階)に新しく南米の楽器やトルコ・イランの弦楽器など約50点が加わり、アジア・アフリカ・アメリカ展示室となりました。

◆5月~8月の観覧者数

	5月	6月	7月	8月	4ヶ月の合計	開館からの累計
大人	5,440	4,291	4,961	8,169	22,861	381,879
中人	219	50	197	1,337	1,803	14,667
小人	1,437	1,161	876	2,934	6,408	86,879
幼児	349	191	396	652	1,588	21,899
計	7,445	5,693	6,430	13,092	32,660	505,324

利 用 案 内

開館時間：火曜日~日曜日 午前9:30~午後5:00

休館日：月曜日(祝日にあたる時は開館)、祝日の翌日、年末年始、

館内整理日(10/25, 11/29, 12/6, 20, 1/31, 2/28, 3/28)

常設展観覧料： 個人 団体(20人以上) 団体(80人以上)

大人(大学生以上) 400円 320円 240円

中人(高校生) 200円 160円 120円

小人(小・中学生) 100円 80円 60円

※館内には、お手荷物の持ち込みはできません。

浜松市楽器博物館だより

平成12年9月30日発行

No.21

編集 浜松市楽器博物館

〒430-7790 静岡県浜松市板屋町108-1

TEL. 053-451-1128

FAX. 053-451-1129

URL: <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gakki/>

gaku@gakki.city.hamamatsu.shizuoka.jp

印刷 株式会社シバプリント